

- P2 経営支援レポート  
元気印 ズームアップ
- P4 知事を囲む商工会代表者会議
- P5 青年部・女性部だより
- P6 「グーベ」ホームページ  
コンテストが開催されました
- P7 攻めのITにチャレンジする!
- P8 掲示板

# ニュースクリップ News Clip

あ 商 ぎ 不 け ない 工 たら す 人 び と ぶ く し ま 商 ・ 工 ・ 人

2023.3.1  
Vol.400



P2に掲載

120年の伝統を引き継ぎながら  
事業拡大を目指します!

只見町・目黒麴店



P3に掲載

復興の花「アンスリウム」でみんなをスマイルに!  
～川俣町での挑戦と魅力を発信～

川俣町・株式会社 smile farm



# アツク

県内2地域の商工会からがんばっている会員企業をご紹介します。  
みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。  
是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せください。  
(fukuren@do-fukushima.or.jp)



## 120年の伝統を引き継ぎながら 事業拡大を目指します!



### 目黒麴店

代表 目黒 繁夫氏

後継者 目黒 大地氏

住所 〒968-0421  
福島県南会津郡只見町大字只見字田中1220

連絡先 TEL/FAX:0241-82-2050

営業時間 8:30~18:30

定休日 火曜日

URL <https://megurokouji.com/>

### 【事業所紹介】

当店は、明治32年(1899年)、麴屋として創業しました。各家々の味噌造りに使用する麴を当店が担ってきたのが始まりです。創業以来、地元只見町を中心に、味噌や生麴の製造販売の他、生ラーメンの製造販売も行っております。



生麴の製造は、先代(5代目)が大坂修行の際に、おいしいラーメンと出会い、地元で生麴の製造所がなかった事から製麴業を開始しました。以来、60余年地元を中心に生ラーメンの製造販売をしております。

当店の生麴は、上質の小麦を2種類独自にブレンドし、尾瀬を源流とする只見川の清らかでおいしい水で仕込んでいます。手造りだから出せる、モチモチとコシの強い熟成多加水麴です。最大の特徴は、「麴の加水率」です。通常30%~35%と言われるのに対し、当店は50%

程度まで加水率を高めています。加水を高めることにより、賞味期限は短くなりますが、麴の食感がとてもモチモチになります。加水率をここまで高くできるのは、機械だけに頼らず、人の手で微妙な調整を行い手造りしているからです。機械製造では生地がやわらか過ぎて一定の製品が造れないため、この点が当店の最大の強みと言えます。



現在、7代目となる息子が家業を継ぐため、地元でUターンし、代々継承・育んできた製法を受け継ぐため、6代目と共に日々仕事に励んでおります。

### 【経営方針等】

顧客満足度向上のため、現状に甘んじることなく常に危機感を持ち、質の良い製品を作るとともに、根強く事業継続、また更なる飛躍をするために、新たな市場へ積極的に挑戦します。



過去には楽天市場内のショップ約5万店舗の中より、お客様から高い評価を頂いた上位1%のショップが選ばれる「月間優良ショップ」を受賞しました。これからも、お客様からの期待や信頼を裏切らないよう、更なる高品質の商品、サービスを提供できるよう心掛けています。



### 【商工会の支援内容】

後継者である7代目は、積極的にセミナー等へ参加し自己研鑽を図り、各種補助金申請に取り組んできました。その結果これまで申請した、持続化補助金・ものづくり補助金・いきいき補助金はすべて採択され、味噌・生麴の新商品開発やパッケージデザインの作成、ECサイト構築の強化、量産設備導入等、様々な事業展開に繋がりました。申請から実績報告まで、商工会による伴走支援によりスムーズに進めることができました。

### 【今後の目標】

これまで、地元産の原材料や近隣町村の特産品を活用した商品開発を行ってきましたが、今後も各方面との連携を図り地域経済に貢献したいと思います。また、更なる増収増益を図り新工場の立ち上げを目指しております。

事業継承も進めているところで、伝統ある目黒麴店の看板を引き継ぐとともに時代に合わせた事業展開を行いたいと思います。



県北

川俣町商工会

復興の花「アンズリウム」でみんなをスマイルに!  
～川俣町での挑戦と魅力を発信～



株式会社 smile farm

代表取締役 谷口 豪樹 氏

住 所 〒960-1501

福島県伊達郡川俣町山木屋字向東山5-9

連絡先 TEL:070-4084-2799 FAX:024-572-7895

営業時間 9:00～15:00

定休日 不定休

U R L Instagram:@smilefarm\_kawamata

【事業所紹介】

弊社は、伊達郡川俣町山木屋地区にて営業しております。

新規就農者として、2017年から川俣町と近畿大学の「オール近大プロジェクト」の一環で、土を使わず古着をリサイクルしたポリエステル繊維を使い、熱帯の花である「アンズリウム」を栽培することから始まり、2021年7月に法人化したしました。

最初は「アンズリウムとは?」から始まり、また「東北の寒いところで熱帯の花を育てられるのか?」と疑問を持ちながらスタートしましたが、関係機関と研究を重ね、現在では川俣町でのアンズリウム生産量は日本一になりました。

加えて観光農園の運営も始め、そこで生産した「苺」と「もち米」でつくった「賞味期限7時間」の苺大福を販売し大好評を頂いております。弊社では、そんなアンズリウムや農産物を使った商品をもっと多くの



方に広めたい気持ちと、観光農園を通じて川俣町の魅力を多くの方に伝えたいと思っております。

現在は、アンズリウムの他に、ヒマワリ・ストック・カラー等季節ごとの花を栽培し、その花を使ったワークショップ等の開催や、苺狩り・観光農園・体験農場・水稻など様々な事業を展開しております。

【経営方針】

弊社の社名でもある「笑顔になれる農園」を目指しております。

笑顔になれる農園とは、「お客様が笑顔で楽しんで、帰ってもらうこと。」「スタッフが笑顔で働き、明日また笑顔で会社にくること。」

「苦勞することも笑って乗り切れる会社であること。」その為にはどう動いていくか、個人・会社全体で考えて行動していきます。

お客様に笑顔になってもらうことを最優先で考え、お客様の笑顔が私達の笑顔になるように努めてきます。



【商工会支援内容】

商工会へ加入頂いてから時間の経過は浅いですが、これまでの活動実績は目覚ましいものがあり、今後の更なる事業展開を向上させるために、自身が策定した中長期事業計画をもとに、専門家と連携した事業計画のブラッシュアップや販売会の支援等を行いました。



今後も経営の幅を広げ認知度向上や新たな顧客獲得のために、各種補助事業を活用した実行等について、継続して伴走支援を実施していきたいと思っております。

【今後の目標】

持続的に継続できる会社を作っていきます。

昨今の燃料・資材高騰、異常気象、新型コロナウイルス感染症拡大といった外部環境の急激な変化に対して柔軟な対応を迫られる場面が増えてきておりますが、弊社では、規模拡大・ブランド化よりも、まず、スタッフが安心して長く働く環境作りをしていくことを第一に考えていきます。

次に、東日本大震災による一部避難地域であった川俣町山木屋地区を盛り上げるため「週末は川俣町に行こう!」をコンセプトとして、地域の方達と協力・連携していきたいと思っております。

皆様、お近くに来られました際は弊社にぜひお立ち寄り頂き、川俣町の魅力を感じ、また発見してみてくださいね!

## 中小企業・小規模事業者の支援体制強化等について要望 知事を囲む商工会代表者会議

令和四年度知事を囲む商工会代表者会議が、十一月二九日、福島市 ウエディング エルティで開催された。

県内商工会長等約九十名が参加し、巒田県連会長は挨拶で、「事業者は、頻発する自然災害、ALPS処理水の海洋放出に対する風評被害の懸念など多くの課題が山積する中、長引くコロナ禍や原油・材料の高騰、物価高を受け、かつてない厳しい経営状況にある。商工会は、刻々と変化する経営環境を機敏に捉え、徹底した伴走支援による事業者の持続的な発展を支援するため、組織一丸となって各般の事業を積極的に推進する。」と述べた。

続いて、本年の東北経済産業局長表彰、福島県商工会連合会長表彰が執り行われ、清水幹久 西会津町商工会長、平子好男 遠野町商工会長ら百六名及び二団体が表彰された。引き続き、商工会代表者による意見表明が行われ、高橋孝光副会長、黒田政徳副会長、古橋博副会長がそれぞれ力強く意見要望し、巒田県連会長が内堀知事に要望書を手渡した。



要望書手交 巒田会長から内堀知事へ



主張発表「再生は地域とともに、きむこ口物語」  
発表部員 滝根町商工会女性部  
石田美由紀様

このあと、「福島復興と地方創生に向けた取組」と題し、内堀知事の講話が行われた。引き続き、第二三回商工会女性部全国大会主張発表において、最優秀賞を受賞した石田美由紀（滝根町商工会女性部）氏がスピーチし、内堀知事、商工会長で共有した。

午後には、商工会長研究会として、南会津町商工会の五十嵐宣仁経営指導員による経営支援事例発表、県連事業における共済事業、県補助事業、「シオクリビト」通販事業等への積極的な推進についての説明会を実施した。

このあと、講演会として聖光学院高等学校 齋藤智也 野球部監督より、「甲子園への道」と題し、甲子園出場の取り組み、選手のモチベーション、人材育成について、ご講演をいただいた。



講演「甲子園への道」  
講師 聖光学院高等学校  
齋藤智也 野球部監督

### 知事への要望書

#### 一、中小企業・小規模事業者支援対策の拡充強化

- ① 中小企業・小規模事業者が行う、原油及び原材料価格高騰対策への取組等に対する補助金の創設
- ② 最低賃金の大幅引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への支援の強化

- ③ 新型コロナウイルスの影響が大きい事業者への経営持続化支援の拡充強化
- ④ 中小企業・小規模事業者が行うオンラインや非対面による販売促進及び新たな販路開拓等、ウィズコロナ経営や生産性向上のためのITを活用したビジネスの取り組みへの更なる支援強化
- ⑤ 円滑な事業承継や創業・起業に対する支援の強化
- ⑥ いきいき補助金制度における中小企業枠の復活
- ⑦ テレワークを活用した企業と移住者の県内誘致推進

#### 二、原子力災害及び頻発する自然災害の克服と県内産業の復興・再生に向けた支援強化

- ① 原子力災害の完全収束に向けた取組と、ALPS処理水処分に係る風評対策の徹底
- ② 避難指示解除区域等における帰還・移住のさらなる促進
- ③ 中小企業・小規模事業者への、迅速できめ細かな復旧・復興支援施策の継続と拡充強化
- ④ 事業再開等支援事業補助金の継続と交付決定前の事前着手を認めるなど柔軟対応
- ⑤ 災害時に事業が継続できる

#### 三、商工会による経営支援体制の機能強化

- ① 商工会職員の削減計画停止と増員配置
- ② 職員の長期休業や働き方改革に伴う臨時職員制度の拡充強化
- ③ 事務局長設置要件の緩和
- ④ 商工会のDX強化にかかる費用補助の創設
- ⑤ 商工会館の防災強化及び修繕費用補助の創設
- ⑥ 国への復興経営指導員等の継続配置の後押しと避難地域商工会への支援継続

令和四年度 秋の叙勲  
晴れの榮譽に輝かれたことを  
お祝い申し上げます。



【旭日双光章】  
H24 富久山町商工会長  
H16 富久山町商工会長

# 青年部 だより

## ～全国都道府県対抗駅伝競走大会

### 福島県代表男子チームへ目録贈呈～

令和4年10月21日(金)福島県商工会青年部連合会主催のチャリティゴルフ大会がパーシモンカントリークラブにて開催されました。県内外から多くの青年部関係者にご参加いただき、大会の趣旨にご賛同いただいた寄付金は100,000円に達しました。

集められた浄財につきましては、令和4年12月26日(月)田村市「田村市陸上競技場」に於いて強化合宿に臨んでいた全国都道府県対抗駅伝競走大会に出場する本県男子チームに激励金として贈呈いたしました。代表の3選手に手渡す際、菅野会長より「県民の皆さんの期待に応える走りをしてほしい」とエールを送りました。

同チーム監督の安西秀幸監督(あいづ商工会青年部所属)が同席いたしました。



左から栗村選手、増子選手、青島選手



チャリティゴルフ大会参加者

# 女性部 だより

## ～ふくしまSDGs推進プラットフォーム～

福島県商工会女性部連合会ではふくしまSDGs推進プラットフォームに登録しております。



12 つくる責任  
つかう責任



目指す  
主要ゴール

主な取組

レジ袋削減「エコバッグ作成」

主な活動場所

福島県内



ごみの削減や、それに伴う二酸化炭素などの温室効果ガスの削減、レジ袋の原料となる原油の節約(資源保護)などを目的に、掲示期間終了したポスターやカレンダーを利用したエコバッグ作成を推進しております。

福島県商工会女性部連合会役員や各商工会女性部長が講師となり、女性部員や地域の方へ作り方講習会を開催したり、YouTubeで作り方の配信を行い広く周知しています。

作成したエコバッグは、レジ袋の代わりに各自の店舗でご希望のお客様へ商品を入れてお渡しし大変好評をえております。

## プラットフォーム 公式 SNS アカウント

- プラットフォームの情報等を発信していきます。皆さまのフォロー・お友達登録をお待ちしております!
- 公式 LINE では、いただいたメッセージの確認も可能となっておりますので、プラットフォームについて質問等がある場合はお気軽にご連絡くださいませ。

<インスタグラム>



<フェイスブック>



<ライン>





# 「グーペ」ホームページ コンテストが 開催されました

令和5年1月11日に二本松市「福島県男女共生センター」にて、グーペホームページコンテストが開催されました。

このコンテストは、福島県内の中小・小規模事業者の販路拡大・取引先拡大支援と商品・サービス・ブランド等の情報発信力強化支援の一環として開催され、グーペの「商工会員向け無料プラン」を利用している10事業所様にご参加頂きました。

午前中のブラッシュアップ研修の後コンテストが開催され、1事業所5分を目安に自社の紹介や、ホームページでやりたいことなどを自由に発表してもらいましたが、参加頂いた事業所のホームページは皆自社の目的や特徴を捉えたすばらしいものであり、商工会としても今後の支援において大いに参考となるものでした。

小規模事業者が自身のホームページを持ち、販路拡大と自社商品サービスの情報発信力強化ができるよう、県連合会では次年度も会員事業所向けの研修やコンテスト開催等によりDXの足掛かりとなるデジタル化導入に向けた支援を継続して参ります。



## 【参加者及び受賞者】

### 最優秀賞

一條豆腐店（伊達市商工会広域連携協議会）

<https://r.goope.jp/ichijotoufuten>

### 優秀賞

●花茂里（伊達市商工会広域連携協議会）

<http://r.goope.jp/hanamori-f>

●めげぞな館（会津西北商工会広域連携協議会）

<https://r.goope.jp/megezonakan>

### 参加者

- nailsalon bellru（西白河郡南部地区商工会広域連携協議会）
- セルフ脱毛サロンBIHADA（西白河郡南部地区商工会広域連携協議会）
- 有限会社トイショップウエダ（西白河郡北部地域商工会広域連携協議会）
- 茱萸木庵（会津中央商工会広域連携協議会）
- 株式会社おざわふぁ〜む（石川方部商工会広域連携協議会）
- カフェハウスカヴァルッチョ（いわき地区商工会広域連携協議会）
- 須田写真館（会津美里町商工会）



左：一條司（一條豆腐店） 右：渡辺恵美子（伊達市商工会）



左：盛藤有美（花茂里） 右：宗像裕也（保原町商工会）



左：小嶋山帆波（めげぞな館） 右：加藤宏美（きたかた商工会）

# 攻めのITにチャレンジする!

～ITを使った新商品やサービスの開発を～

IT投資における日米比較



福島県よろず支援拠点コーディネーターの菊地 匡(きくち ただし)と申します。  
今回は、ITを活用することで今までのビジネスのあり方を変え、新しいビジネスにチャレンジする。そして利益の拡大や販売力アップ、新規顧客の獲得を目指すことをテーマにお話しさせていただきます。

## ①これまでのIT投資は「守り」

日本の企業はこれまで「守り」の分野にしかIT投資をしてきませんでした。「守り」のIT投資とは、既存のシステムのメンテナンスを行ったり、生産や販売を管理し、業務システムを自動化したり、システムにより情報

の一元管理をしたりするものです。言わばコストカットや作業効率化するものを「守り」のIT投資と言います。

「守り」のIT投資を続けてきた結果、ITを活用した情報発信やサービス開発の分野でアメリカから大きく引き離され、水をあけられた結果となりました。

## ②「攻め」のIT投資を!

システムの保守費用にいくらお金をつぎ込んで、売上や利益の拡大にはつながりません。ではどうすればよいのか?

それは、ECサイトを活用して商品販売を行い、新たな売上を獲得したり、データを基に消費者の行動を分析し、新規顧客

獲得の為にアイデアを出したり、A-の活用で対人コミュニケーションをオートメーション化し、新たな顧客の為に時間を有効活用したりすることです。

皆様が一番身近なものはホームページの作成やECサイト、SNSを活用した情報発信ではないでしょうか。一概に、「ホームページやECサイトを作成したから、必ず売上が上がる!」というわけではありませんが、商品を販売するチャネルが一つ増えるということは、売上が伸び悩んでいる事業者様にとつてはとても大きな一歩になると思います。

まずは一步を踏み出していただいた上で、実店舗と同じようにECサイトに磨きをかけていただき、広告宣伝でお客様を呼び込んでいただくことで売上の拡大が見込まれます。

また、単にSNSやHPを始めめるのではなく、「SNS↓ECサイト↓商品購入」や「HP↓ECサイト↓商品購入」などお客様のWeb上での動線を考えた上で情報発信を行うことで、コンバージョン(Web上での最終的な成果)につながるのです。

## ③これからIT投資は不可欠

HPやECサイトの構築の情報発信に限らず、これからIT投資は必要になります。

福島県よろず支援拠点  
コーディネーター

菊地 匡

**H P** <https://f-yorozu.jp/>  
**TEL** 024-954-4161(郡山)  
024-525-4064(福島)  
**E-Mail** [yorozu@f-open.or.jp](mailto:yorozu@f-open.or.jp)



必要なITツールについては、専門的な知識が必要になることから外部専門家の活用も考慮する必要があります。  
高価なものでもなくても有効なITツールは沢山ありますので、困ったことがありましたらご相談ください。



令和五年二月一日

高工会会員の皆さまへ  
安心補償のお知らせ!!

傷害プランの  
2,000円、3,000円、4,000円コースには、  
「熱中症の補償」  
「個人賠償責任保険」が、  
付帯されています!

個人賠償の中身も  
充実の  
安心補償

けがの補償で  
熱中症も  
補償



**熱中症の補償**  
日常生活や業務中に  
**熱中症になったときに補償**

●例えば、このような熱中症になったとき

●例えば、このような事故が起きたとき

●熱中症とは 急激かつ外来による日射または熱射により 身体に障害を被ったことをいいます。

**個人賠償責任保険**  
最高**2億円**まで補償  
(※例外は1億円限度)

●例えば、このような事故が起きたとき

●日常生活における様々な 法律上の賠償事故を補償します!

※保険の対象となる方はそのご家族が、被保険内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。ご加入にあたっては補償内容を十分ご確認ください。  
※保険金をお支払いする主な場合、保険金をお支払いしない主な場合については、メニュー内の「補償のあらまし」をご確認ください。  
※「個人賠償」の補償、「熱中症」の補償は傷害ライトプラン、シニア傷害プランには付帯されません。  
※個人賠償責任保険について、国内での事故（一部が国外の観光時に発生した場合を除きます。）に限り、事故交渉は原則として東京海上日動火災保険株式会社が行います。  
※個人賠償責任保険は東京海上日動火災保険株式会社（引受保険会社）が補償する「総合生活保険（個人賠償責任補償）」です。  
この広告は、福祉共済「傷害プラン」の熱中症の補償と個人賠償責任保険（「総合生活保険（個人賠償責任補償）」）の概要を紹介したものです。ご加入にあたっては必ず「重要事項説明」をよくお読みください。ご不明な点がございましたら、高工会までお問い合わせください。

高工会・都道府県高工会連合会・全国高工会連合会  
(引受保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社 [田舎町] 広域法人部 法人第一課 東京都千代田区三番町6-4 TEL.03-3516-4147  
2022年8月作成 22-TC02056

# INPIT 福島県知財総合支援窓口

知財のことならご相談ください  
(相談・支援は無料です)

特許  
意匠

TEL 024-963-0242

商標  
著作権

一般社団法人福島県発明協会



News Clipは循環型社会の実現を目指して、環境に配慮した植物油インキと再生紙を使用しています。

発行／福島県商工会連合会 発行責任／石本 健 〒960-0805 3 福島県福島市三河内町1番20号(1)三ツさくら(ビル)内  
024(5225)3411 024(5225)3413 fukuren@do-fukushima.or.jp http://www.f.do-fukushima.or.jp/